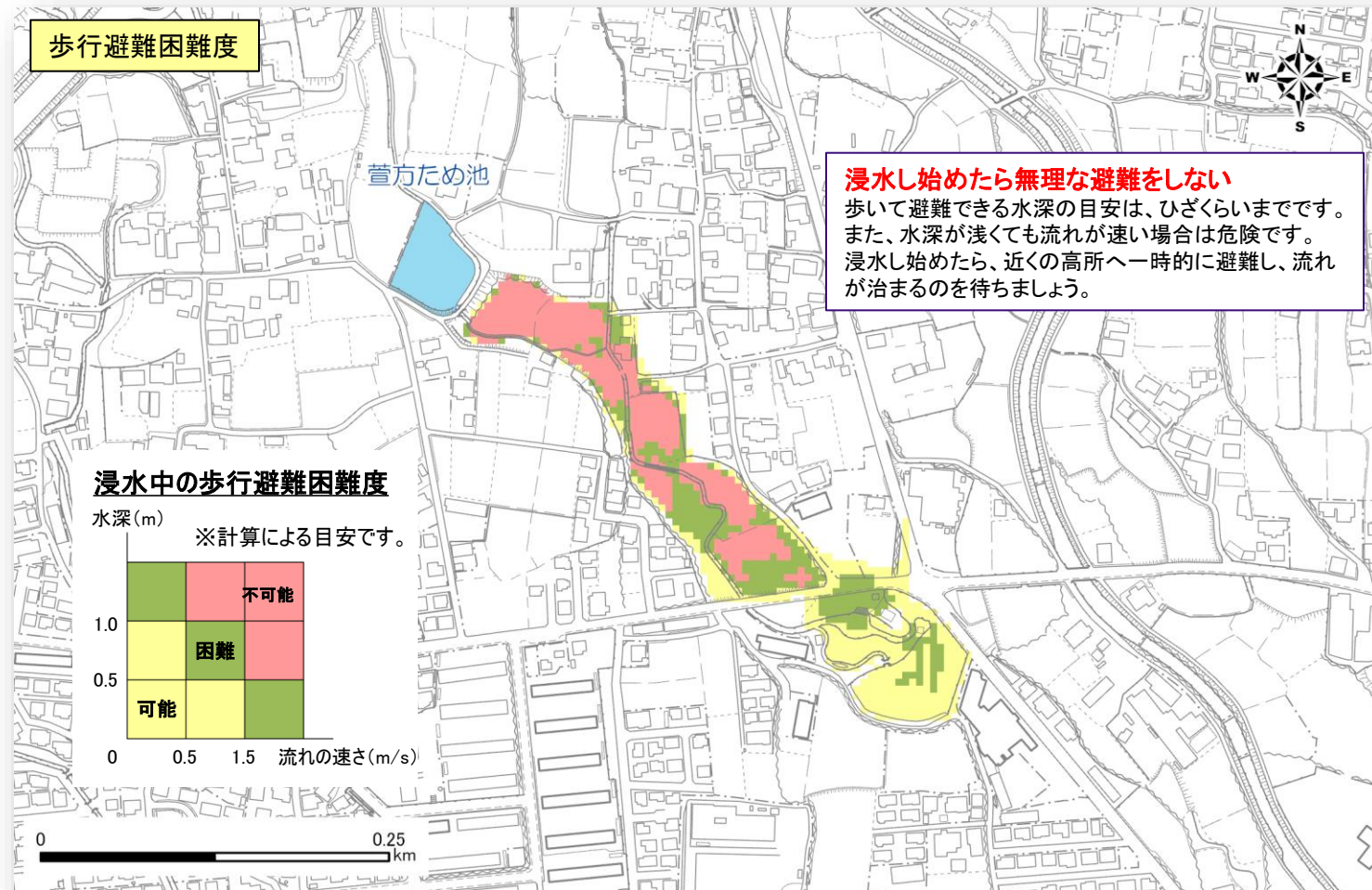


□ 水深が浅い場合でも水の流が速いと危険です！



鳥栖市ため池ハザードマップ (萱方ため池)

この「ため池ハザードマップ」は、萱方ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報を取りまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

作成：令和2年3月



萱方ため池	
○堤 長	: 90.0m
○堤 高	: 5.00m
○満水時水深	: 不明
○貯水量	: 6,700m ³
○築 造	: 江戸時代以前

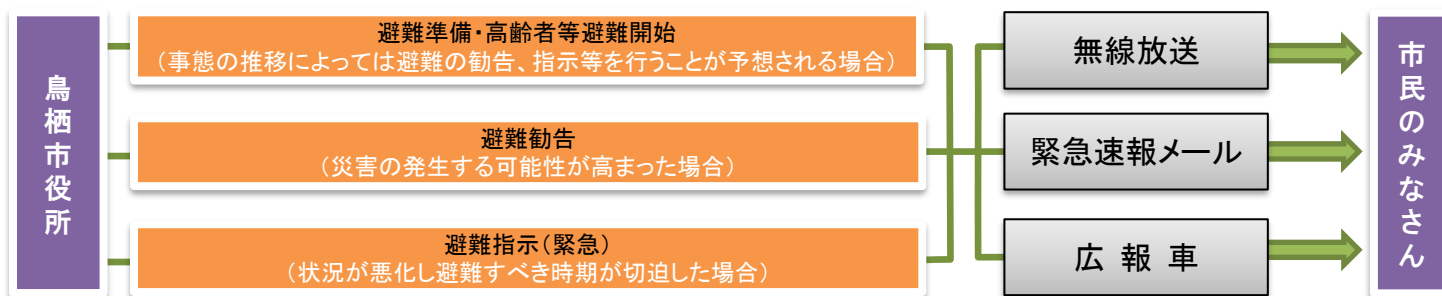
□ 避難に備え早めの情報収集を行いましょ。

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
鳥栖市公式ホームページ (災害情報・防災対策)	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.city.tosu.lg.jp/Category1-7-3.htm
防災・減災さが	県内の防災関連情報や関連サイトなど	http://www.pref.saga.lg.jp/bousai/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	http://www.river.go.jp/
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	http://www.jma.go.jp/jma/index.html

【萱方ため池の現状】

萱方ため池は、農業用水を確保することを目的とし、谷をせき止めて築造されました。現在では、利水はもとより動植物の生息・生育環境として貴重な役割も担っています。しかし、近年では施設の老朽化もみられ、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震が発生した場合、堤防が損傷を受け決壊に至る可能性もあります。万が一ため池が決壊した場合、池の下流には一度に大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。現在は洪水吐よりも水位を下げるなど、決壊の危険性を低減させる管理をしています。

□ 市役所から呼びかける避難情報



気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達が間に合わない場合もありますので、身の危険を感じたら早めに避難して下さい。

【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】

鳥栖市役所 TEL (0942)85-3566 (農林課) ホームページ <https://www.city.tosu.lg.jp/>
〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町1118番地

□ ため池ハザードマップの活用方法 (急な事態へ備えましょ)

【1】想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょ。

- 危険度やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょ。
- 災害時の様々な事態をイメージしましょ。



【4】日頃から家族や地域で話し合いましょ。

- 災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょ。
- 避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょ。



【2】避難場所を決めておきましょ。

- 危険度やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょ。
- 浸水深が3mを超える区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょ。
- 家族の連絡先を確認しておきましょ。



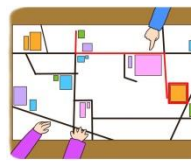
【5】防災情報の入手先を確認しておきましょ。

- ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょ。



【3】避難場所までの避難経路を考えましょ。

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょ。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょ。

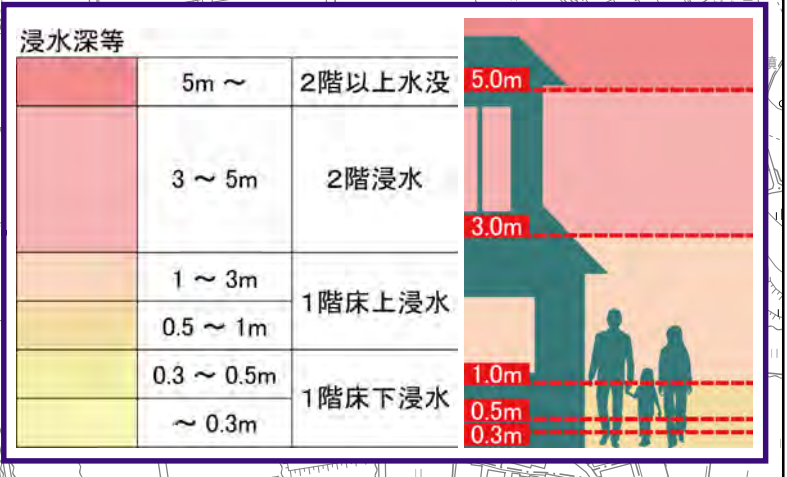


【6】市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

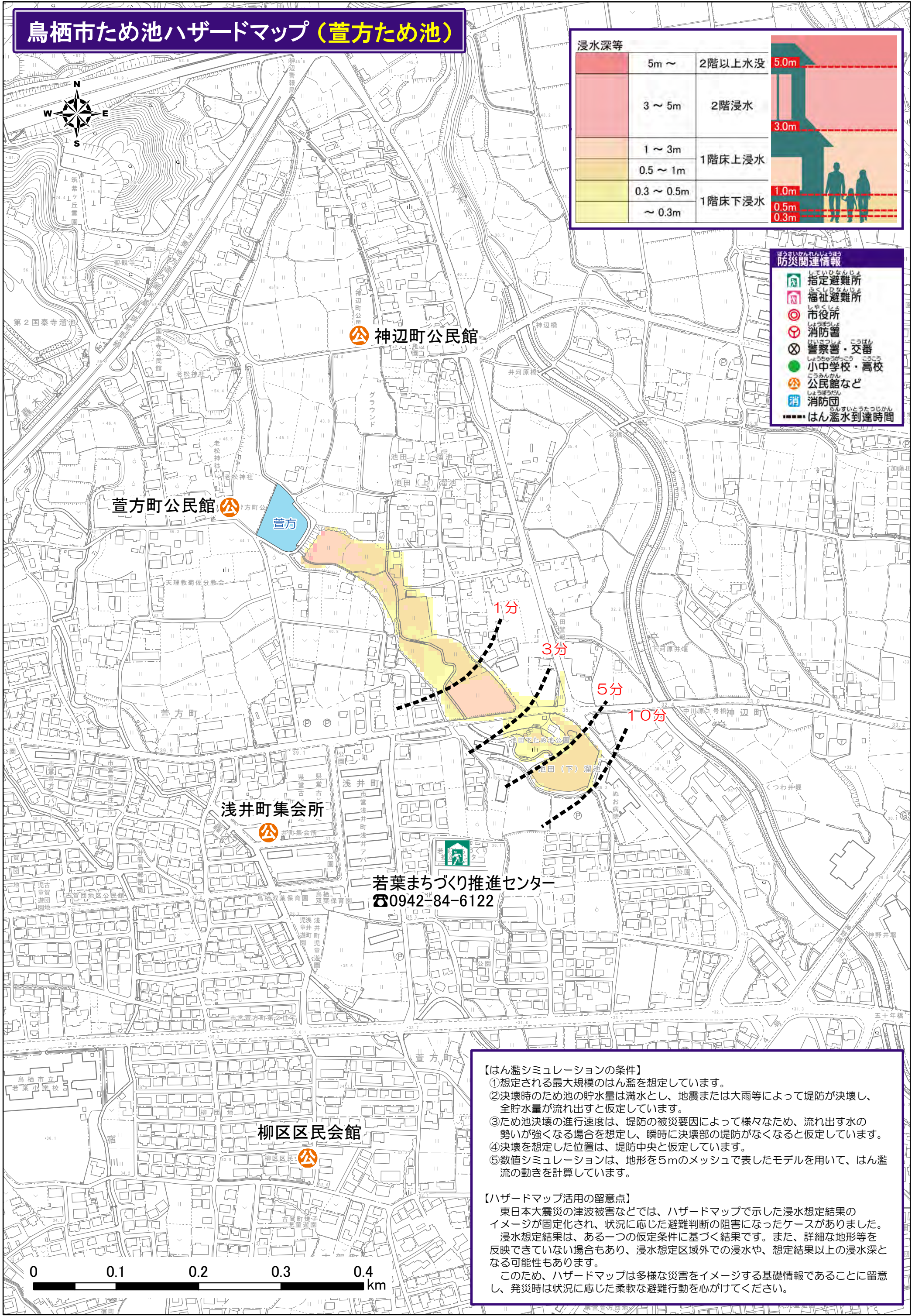
- 鳥栖市洪水・土砂災害ハザードマップには、大雨に伴う河川のはん濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょ。



鳥栖市ため池ハザードマップ（萱方ため池）



- 防災関連情報**
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 市役所
 - 消防署
 - 警察署・交番
 - 小中学校・高校
 - 公民館など
 - 消防団
 - はん溢水到達時間



【はん溢シミュレーションの条件】

- ①想定される最大規模のはん溢を想定しています。
- ②決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ③ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- ④決壊を想定した位置は、堤防中央と仮定しています。
- ⑤数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん溢流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外の浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

